

科目コード/科目名 (Course Code / Course Title)	その他/演習 B20 (Seminars B20)		
テーマ/サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	英文法論		
担当者名 (Instructor)	小池 剛史(KOIKE TAKESHI)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	EAL3813	言語 (Language)	その他 (Others)
備考 (Notes)	申込カード記入用科目コード:AM119		

授業の目標(Course Objectives)

これまで学んできた英文法を、異なる立場から書かれた英文法教科書を通じて、いわゆる学校文法とは異なる視点で捉え直し、英文法の面白さや問題点を理解することを全体の目的としています。具体的な目標は、英文テキストを丁寧に読み、理解する事、レジュメを使って学生たちに理解しやすい平易な日本語で説明できるようになる事、そしてこの英文法の考え方と学校文法の考え方の違いを理解し、レポートに纏めるようになる事です。

We will look at English grammar from a different standpoint from the so-called "school grammar" and aim to appreciate the depth, issues, and problems of English grammar. Students will learn to understand the text in the grammar, present its contents in plain Japanese, and discuss difference between this grammar's approach and that of school grammar.

授業の内容(Course Contents)

英語圏の大学の学部1, 2年生が使用している英文法書が主要テキストです。皆さんが中高で学んできたような英文法の用語は英語で何というのか、また英文法のような規則が英語でどのように説明されているか、等を学ぶことで、私たちの英文法に理解を深めていきたいと思っています。この演習では特に、前置詞に焦点を当てます。最初の数回の授業は、小池による講義+ディスカッションで進めます。以降からはグループによる発表で授業を進めます。授業は日本語で行います。

We will use an English grammar that is used at university in English-speaking countries for 1st and 2nd undergraduates. We will learn how various grammatical concepts are explained and also see different approaches taken to explain the grammar. This course this year will specifically focus on the usages of prepositions. The first few weeks will be taught by the instructor. For the rest of the weeks there will be students' presentation and the lecture.

授業計画(Course Schedule)

1. オリエンテーション(役割分担決め)
2. 伝統的な前置詞の理解
3. 前置詞の範疇(1)前置詞と接続詞
4. 前置詞の範疇(2)前置詞と副詞
5. 前置詞の範疇(3)前置詞と形容詞/前置詞と動詞
6. 文法化した前置詞
7. 前置詞 "stranding"
8. 前置詞句の構造
9. 節を補部とする前置詞句
10. 前置詞を伴うイディオム
11. 個々の前置詞について(1)
12. 個々の前置詞について(2)
13. 個々の前置詞について(3)
14. まとめ

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

毎回授業前に、その日に扱うテキストの箇所を熟読しておくこと。授業の最初に抜き打ちで教科書の内容理解を確認します。また毎回授業後に、授業内容の理解を深める課題を出します。その次の授業で提出すること。

成績評価方法・基準(Evaluation)

筆記試験(Written Exam)(50%)/毎回の授業での課題(30%)/最低一回の発表(20%)

テキスト(Textbooks)

1. Rodney Haddleston & Geoffrey K. Pullum. 2005年. *A Student's Introduction to English Grammar*. Cambridge University Press (ISBN:978-0521612883)

必要に応じてコピーを配布します。

参考文献 (Readings)

1. Rodney Huddleston & Geoffrey K. Pullum. 2002 年. *The Cambridge Grammar of the English Language*. Cambridge University Press (ISBN:978-0521431460)

その他 (HP 等) (Others (e.g. HP))

グループ発表については、発表の一週間前に火曜日 1 限目または昼休み時間を使って、私と発表内容理解のための打ち合わせをします。発表前にあらかじめレジユメを作成すること。

注意事項 (Notice)